

## 平成24年度予算の特色

### 一般会計

#### (予算編成方針)

平成22年度については、歳入については、法人町民税が、町内企業における業績が予想以上の好調に転じたことにより、決算額では予算額に対して約3億円増の5億円強の歳入となりました。同じく町たばこ税についても約2億8千万円あまりの増となりました。

また、地方交付税における普通交付税についても、平成21年度における法人税収の著しい落ち込みや地方交付税法の改正等の影響を受け、平成16年度以来6年ぶりに普通交付税の交付団体となりました。併せて特別交付税についても加算が発生し、地方交付税全体では約1億5千万円の増となりました。

このように、平成22年度決算については、当初の予測を上回る歳入に恵まれたことで、経常収支比率等の指標が改善する等比較的良好な決算となり、このような状況を受けて、平成23年度以降の新たな歳出に対応すべく財政調整基金に新たに積み立てを行う等の対応が可能となったものです。

しかしながら、平成23年度の財政運営については、昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受けて、平成22年度に予定納税された法人町民税に対して、確定申告により多額の還付を要するなど、平成22年度末に10億円強の残高を有していた財政調整基金は、現時点における平成23年度末の残高見込額が一旦は4億円台にまで落ち込む事態となっています。

また、平成24年度の国における予算の概算要求においては、歳入については、地方の財源不足に対する一定の配慮がされ、実質的な地方交付税は概ね平成23年度の要求額とされるなど、一般財源総額は実質的に平成23年度の水準を下回らないよう確保するとされたものの、急激な円高の進行や産業の空洞化が懸念される状況下では、国税収入の飛躍的な伸びは望めず、ひいては地方の財源不足額に比重を置いた措置に偏り、財政力指数が比較的高い本町にとっては、実質的に不利に作用することも予想されます。また、国庫補助金等の一括交付金化等大幅な制度改正が見込まれることから、制度の創設・改廃等による地方負担等の動向に注意を払うことが必要です。

歳出については、平成21年度以降の歳出見直しに向けた取り組みの実践、平成21年度および平成22年度における繰上償還の実施により徐々に公債費の縮減について効果を上げつつも、財政健全化法に基づく健全化判断比率のひとつである実質公債費比率については、平成22年度決算における同比率が19.3%となり、地方財政法に基づく早期是正基準(18%)を引き続き超えている状態です。

また、平成24年度においても引き続き高齢化の進展等による福祉関係経費の一層の増嵩等により義務的経常経費の増加、加えて老朽化が著しい公共施設の改修が迫られてい

るなど、多額の財政需要を必要としており、大幅な財源不足が見込まれる状況にあります。

これを受けて、行政と住民との新たな役割分担について、本町の各施策への浸透を図る等これの実現に向けた環境の整備をはじめ、行政事務の一層の効率化に向けた取り組みの継続、および可能な限り実施計画の平準化および内容の精査を図った上で、なおかつ必要となる公共施設の維持修繕に係る建設事業費の増に向けて、更なる公債費の縮減を目指し引き続き繰上償還を実施する等さらに財政の健全化に積極的に取り組んでいくことが喫緊の課題となっています。

このような観点から、平成24年度当初予算編成にあたっては、引き続き財政健全化に向けた取り組みにおける方針ならびに先の竜王町行政改革集中改革プランの精神を踏襲し、各所管部門において改革を確実に推進するものとします。

また、平成23年度からスタートした第5次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方を基本項目として、町民の内発的な力を育む住民本意の「“ひと”育ち みんなで煌めく交竜の郷」をめざして施策を具体化させるものとします。

- (1)豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- (2)みんなが安心して暮らせるまちづくり
- (3)チャンスを活かすたくましいまちづくり
- (4)町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

以上4項目をまちづくりの基本視点とし、第5次竜王町総合計画の目指す10年後のまちの姿を見据えて、まちづくりを担う人（人口）に焦点をあてた「若者定住」、まちづくりの現実問題である「地域コミュニティ」や「農業・農村の維持」、また「産業の活性化」に関する施策の展開と、早期に実質公債費比率を18%以下とするための本町公債費の縮減に向けた取り組みを推進しつつ、歳入の確保に向けた取り組みと併せて、国県の動向を注視し、各所管における自主的・主体的な事務事業の点検や見直しのさらなる徹底により、事業の選択と真に住民が求める施策への集中、予算配分の重点化と効率化を図り、見込まれる不足財源の縮減に向けて全庁挙げて取り組むこととします。

## (予算額)

一般会計の総額は、47億8,700万円となり前年度に比べ1億1,600万円の増、率にして2.5%の増といたしました。

平成24年度については、固定資産税について、評価替えおよび引き続き低調な企業の設備投資による税収減が見込まれる一方で、景気が緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されることから、企業の業績とともに法人町民税が回復しつつあることに

加えて、個人町民税については、地方税法の改正による増収を見込み、町税全体で収入増となる中、事業の選択と真に住民が求める施策への集中を図りつつ、第五次竜王町総合計画において目標としている定住人口増加に向けた施策を中心に各政策の柱に沿った事業実施に要する経費等について重点配分し、その財源の一部を基金の取り崩しにより補てんしつつ前年度に比べ2.5%増の積極型予算といたしました。

平成24年度は第五次竜王町総合計画の実施2年目を迎えることから、目標達成に向けた着実な成果が上げられるよう皆で考え、汗をかき、知恵を出して事業に取り組むことといたします。

### [歳入]

- ・ 景気の動向に一部不透明さはあるものの、法人町民税は、一部の企業において業績回復が見込まれること、個人町民税は、年少扶養控除の廃止等が行われたことにより全体として4.1%の増としました。
- ・ 地方譲与税については、総務省推計値により平成23年度と同程度としました。
- ・ 地方消費税交付金等の県税交付金については、総務省推計値および直近数年間の歳入傾向を踏まえ、総じて22.8%の増としました。
- ・ 地方交付税は普通交付税が基準財政収入額の減少等により8,500万円の増額交付を見込み、特別交付税についても直近数年間の傾向を踏まえ増額となる見込み、総じて320.0%の大幅な増としました。
- ・ 国庫支出金は、子ども手当から子どものための手当へと改正されること等により18.6%減としました。
- ・ 財源不足を補うための財政調整基金繰入金は、町税、地方交付税および臨時財政対策債の増により45.0%の減としました。
- ・ 町債は、普通交付税算定における財源不足額の増に伴い臨時財政対策債発行可能額の増加が見込まれることから73.9%の増としました。

### [歳出]

- ・ **議会費**は、本町の多様な行政課題に対する議員としての知見の向上を図るべく、各委員会の所管事務調査として議員研修事業を新設したが、議員年金制度の廃止により減少しました。
- ・ **総務費**は、住民基本台帳システム等改修、固定資産評価替調査業務、公共施設等修繕計画策定業務および公用自動車購入等について、減少または皆減したものの篠原駅周辺都市基盤整備事業負担金の増加および住民税税法改正システム対応業務、収納システム改修業務の新設により増加しました。

- ・ **民生費**は、子ども手当が廃止になり子どものための手当へと変更になったことにより減になったものの、地域福祉計画策定業務、強度行動障がい児（者）受入体制あり方検討事業、町障害者生活支援センター設置、後期高齢者医療特別会計繰出金、児童福祉施設整備費補助金、障害者施設等整備費補助金、自立支援給付費および竜王小学校区学童保育所建築工事等により増加しました。
- ・ **衛生費**は、竜王町で安心して子どもを産み育てられるよう妊婦健診事業の充実、公営企業による水道管石綿管更新に係る建設改良費の一部として水道事業補助金の増額、中部清掃組合負担金の増額等により 16.1%増加しました。
- ・ **農林水産業費**は、農地費において日野川流域土地改良区負担金が減額および国営日野川地区土地改良事業負担金が皆減となるものの、地域農政推進費について農地集積協力助成金および青年就農支援助成金が皆増、土地改良総務費について環境保全型農業支援事業補助金の皆増、産業フェア開催事業について、実行委員会に対する補助を新設し、総じて 2.9%増加しました。
- ・ **土木費**は、運動公園管理費における受変電設備更新工事等および第五次竜王町総合計画における重点プロジェクトのひとつとして位置づける定住人口の増加に向けた具体的な施策について、特認事業として地区計画策定業務および定住化促進事業として臨時職員雇用を含む所要額を増額したものの、町道松陽台安養寺線道路改良工事業務関係経費の減少および道路台帳データ整備業務委託料の皆減があったことにより、5.5%と減少しました。
- ・ **消防費**は、地域防災計画の見直しおよび消火栓の設置等により増加しました。
- ・ **教育費**は、町内小学校、中学校および幼稚園におけるエアコン設置等に伴い必要となる借上料等、竜王中学校体育館改造工事实施設計業務委託料、給食センター調理機器の購入、少人数学級化実施のための町単独費による小学校への教員（2名）の配置等により 8.9%増加しました。

(主な事業)

◆第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類

**「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」**

- ・ 河川総務費・一般管理費 868万8千円  
河川愛護作業に係る補助金
- ・ 文化財調査事業 2,397万3千円  
文化財確認調査業務に係る委託料

**「みんなが安心して暮せるまちづくり」**

・【新】子どものための手当 子どものための手当の支給	2 億	2 5 万円
・【新】学童保育所施設整備事業 竜王小学校区学童保育所の建設	4,	3 8 7 万 1 千円
・【新】防災計画策定事業 地域防災計画の見直し	1,	4 1 0 万 1 千円
・【新】消火栓設置事業 消火栓設置工事		8 1 0 万 5 千円
・【新】生徒指導体制強化事業 小中学校に生徒指導支援員を配置		5 9 5 万 7 千円
・【新】児童生徒支援相談充実事業 小中学校に児童生徒相談員を配置		5 9 5 万 7 千円
・地域子育て支援拠点事業 子育て応援マップ作成業務委託	1,	2 2 6 万 1 千円
・母子保健事業 乳幼児・妊婦健診、不妊治療費助成金等	1,	5 4 8 万 2 千円
・公共交通対策費 生活交通路線維持費補助およびコミュニティバス運行委託補助	2,	1 2 1 万 6 千円
・地域生活支援事業 強度行動障がい児（者）受入体制あり方検討事業委託料等	1,	8 0 4 万 6 千円
・障害者施設整備等事業 障害者施設（グループホーム・作業所）等の整備費の補助等	1,	3 0 0 万 1 千円
・低年齢児保育保育士等特別配置事業 1・2歳児保育保育士特別加配		3 0 0 万円
・健康づくり推進事業 健康いきいき 2 1 プランの計画策定等		4 4 0 万 7 千円
・小型動力ポンプ整備事業 老朽化している小型動力ポンプの更新		1 9 0 万円
・3 5 人学級実現事業（小学校管理費） 少人数学級化実施のため、町単独費による小学校への教員（2名）の配置		6 4 6 万 9 千円
・竜王中学校施設整備事業 体育館改造工事実施設計等		8 3 1 万 1 千円
・児童福祉施設（保育所）整備事業 民間保育園の新增築用地造成に係る補助		5 5 3 万 7 千円

### **「チャンスを活かすたくましいまちづくり」**

- ・【新】 果樹園芸農業経営支援事業 250万円  
農林公園の畑作・果樹栽培において新規就農等に対する経営支援
- ・【新】 学校図書館における言語活動充実事業 515万3千円  
小中学校に学校図書館運営員を配置
- ・ 企業誘致等経済活性化方針策定業務（計画調査・一般管理） 30万円  
戦略的な企業誘致の推進のため企業誘致方針について検討・策定
- ・ 定住化促進事業 238万1千円  
第五次竜王町総合計画における定住促進の具現化
- ・ 篠原駅周辺都市基盤整備事業 1,874万2千円  
国の交付金を活用し具体的な事業に着手
- ・ 農業振興地域整備計画策定事業 593万2千円  
農業振興地域整備計画の見直しおよび策定
- ・ 農地・水・環境保全向上対策事業 2,923万5千円  
向上活動支援事業、環境保全型農業支援事業
- ・ 都市計画マスタープラン変更業務（都市計画総務費・一般管理） 315万円  
第五次竜王町総合計画に基づく都市計画マスタープランの見直し業務

### **「町民と行政との協働により築くオリジナルのまちづくり」**

- ・【新】 まちづくり活動支援事業 100万円  
まちづくり活動に対する補助
- ・ コミュニティ支援事業 45万円  
各地域における地域力の向上に向けた地域コミュニティ計画の策定
- ・ 地域創造まちづくり事業 62万1千円  
地域力の向上と協働のまちづくりのためフォーラムの開催等
- ・ 竜王町産業フェア開催事業 170万円  
第12回産業フェア補助金
- ・ 人権問題住民意識調査実施（人権教育・啓発事業） 258万4千円  
人権問題住民意識調査業務委託料等
- ・ 給食センター備品購入（給食センター管理費） 1,795万6千円  
ガス式スチームコンベクションオーブン（2台）購入

**「その他」**

- ・ ホームページ更新強化（広報・広聴事業） 2 2 5 万円  
    ホームページのリニューアルおよび人的増員等
- ・ 議員研修事業 1 4 7 万 6 千円  
    各委員会の所管事務調査
- ・ 税等コンビニ収納システム改修事業（賦課徴収管理費） 2, 0 0 0 万円  
    町税をコンビニエンスストアで納付するためのシステム改修
- ・ スーセーマリー市中学生交流受入事業 7 3 万 8 千円  
    スーセーマリー市中学生受入に係る経費
- ・ 竜王町立竜王小学校改築基金積立 5, 0 0 0 万円  
    竜王小学校改築のための財源として積立て